

第103回薬剤師国家試験行われる 合格率は70.58%、昨年比105人増

第103回薬剤師国家試験の結果が発表された。受験者数1万3579人のうち合格者は9584人で、合格率は70.58%だった。合格率は前回より1ポイント下がったものの、合格者数は105人多くなった。合格者の基準を得点率65%以上の絶対基準から、平均点と標準偏差を用いて試験ごとに合格基準を決める「相対基準」に変更してから3年目を迎え、合格率が大きく変動しなくなったこともあり、安定期に入ったと見られる。

6年制新卒者の合格者は7304人で合格率は84.87%、6年制既卒者は2151人で47.00%だった。新卒者は前回の85.06%から0.19ポイント減で、既卒者は前回の50.83%から3.83ポイントの減となった。

合格率を男女別に見ると、男性が68.04%で、女性が72.30%だった。大学の設置主体別の合格者数は、国立が543人(合格率83.67%)で、うち6年制新卒が442人(92.47%)、6年制既卒が30人(57.69%)、その他

(旧4年制卒、受験資格認定者)が71人(59.66%)だった。

公立は254人(86.10%)で、うち6年制新卒217人(95.18%)、6年制既卒12人(38.71%)、その他が25人(69.44%)となった。私立は8787人(69.55%)で、6年制新卒6645人(84.11%)、6年制既卒2109人(46.93%)、その他33人(13.75%)だった。

大学別に合格率を見ると、90%を超えたのは5校、50%を下回ったのは7校だった。合格率がもっとも高かったのは金沢大学の

97.50%で、広島大学92.86%、いわき明星大学92.31%、九州大学90.48%、武蔵野大学90.45%と続いた。

また、今回の国試は1万4876人の出願者数に対し、受験者数は1万3579人で、1297人が受験しなかったことになる。出願者数に占める受験者数の割合は91.2%で、6年制新卒者について見ると、出願者数が9555人、受験者数は8606人で受験率は90%と低くなった。

6年制新卒の受験率を設置主体別で見ると、国立大学が487人の出願者数に対し、受験者数は478人で98.1%、公立大学は同様に229人、228人の99.5%と高かった。一方、私立大学では、出願者数8839人に対し、受験者数が7900人で89.3%と低く、大学側が出願しても合格が見込めない学生を受験させない合格率操作を行った可能性もある。



関連記事 6~8ページ

道のり険しいスイッチOTC PPI3成分認められず再審議

セルフメディケーションを実践するために薬局薬剤師の大きな武器になるスイッチOTC薬。医療用からの積極的な転用が期待される中、またスイッチ化の道のりを険しくする結論が下された。厚生労働省の検討会議が3月、スイッチOTC薬候補の5成分を評価した結果、何とかH₂ブロッカー点眼薬の「レボカバステン塩酸塩」については、目のかゆみに限ってOTC化を妥当と判断した

ものの、尋常性乾癬治療薬の「カルシポトリオール」は不可とし、「オメプラゾール」などプロトンポンプ阻害剤(PPI)3成分は「OTC化するには強力すぎる」「欧米では特に大きな問題は起きていない」と意見が分かれ、次回会議で再び審議することになった。

検討会議では、PPIの3成分について日本消化器病学会が見解を表明し、「14日以内の短期使用であれ

ばOTC化は妥当」と条件付きで賛成意見を示したが、日本臨床内科医会は急性腎障害などの有害事象が報告されていることから、安全性が担保されない限り「不可」との見解を示した。日本医師会の委員からも「生体バリアを破壊してしまうなどOTC化するにはあまりにも強力だ。薬剤師の管理が十分でないなどの実態もある」と否定的な意見を述べた。

専門学会が一部条件付きで賛成したにもかかわらず、消化器疾患の患者が多い実地臨床の開業医からはなかなか理解が得られない実情が交錯したのに対し、薬剤師を代表して日本薬剤師会の委員は「薬剤師がきちんと管理できると確信している。欧

米ではOTC化後、特に大きな問題は起きていない」と反論したが、それほど理解が得られるかは不透明だ。次回会議で再び審議した上で結論を出すこととなった。

また、カルシポトリオールは、日本皮膚科学会などが高カルシウム血症の副作用リスクを考慮すると医師の管理が必要などの見解を示していることから、OTC化が「不可」となったほか、前回の会議で議論を行った8成分について再び審議したものの、眼の殺菌・消毒・洗浄の「ヨウ素・ポリビニルアルコール」のみOTC化を「可」とし、その他の成分を「不可」とする判断は変わらず、スイッチ化の動きは依然として険しい。

きらりと光る 地域の薬局へ

「家族の希望をかなえたい」「寄り添って生活したい」
患者さまのニーズにお応えできるよう 在宅訪問に力を入れています。
「薬剤師としての新しいステージへ」コスモは挑戦しています。
コスモ訪問看護リハビリステーションと連携し多職種連携によるチームの力で
患者さまに寄り添い安心してお薬を服薬できるようサポートしています。



 **コスモ薬局**

埼玉県(蓮田・大宮・越谷・黒浜・久喜・越谷東・岩槻・七左・レイクタウンDMビル・土呂
エムエム薬局・そね薬局・きらり薬局 岩槻・在宅療養支援センター・上落合)千葉県(我孫子)

cosmopharmacy.co.jp

 **コスモ 訪問看護リハビリステーション**

埼玉県内3事業所(さいたま北・蓮田・レイクタウン)

cosmonurse.jp

遠隔

パソコンやスマートフォンを介したオンライン診療が普及した。2018年対面診療とICTを組み合わせられる「オンライン診療」が注目される。対面診療を評価する「オンライン診療」も新設され、まさに言える大きな動きと見られる。3月からはオンライン診療の作成に着手。3月には指針に則ったオンライン診療の実施できる体制を整える。服薬指導の実施にも推進会議の議論では、薬品の授受まで一気通貫で求められる声が相次いでいる。労省は、国家戦略特区からとの姿勢で、先行しないわけではないと見られる。今後の焦点は遠隔診療の普及と見られる。